



サイエンスカフェ

# science Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、  
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として  
『サイエンスカフェ』を開催しています。

## 第31回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2015年 12月 4日(金)  
18:00 ~ 19:30

●場所：九州工業大学・飯塚キャンパス  
福利施設2階喫茶室 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『シェイクスピア』の作り手たち

●ゲスト：<sup>ながせ まりこ</sup>長瀬 真理子 氏

( 情報工学研究院  
人間科学系 准教授 )

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、  
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要 (定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



### ゲスト紹介

<sup>ながせ まりこ</sup>  
長瀬 真理子 氏

情報工学研究院  
人間科学系  
准教授

「シェイクスピア劇」と言えばイギリス古典文学の最高峰ですが、作家の生前、芝居は大衆娯楽でしかなく、シェイクスピア自身が自分の芝居を読み物として後世に残すことはありませんでした。彼の作品を「文学」に昇格させたのは、台本を印刷用に編集し、出版してきた人々です。

サイエンスカフェでは、シェイクスピア時代の劇作手法や現存する劇作版本の形態も紹介しながら、劇作テキストを読み物として出版し、イギリス文学というジャンルの確立に貢献した人々の仕事についてお話できればと思います。

